

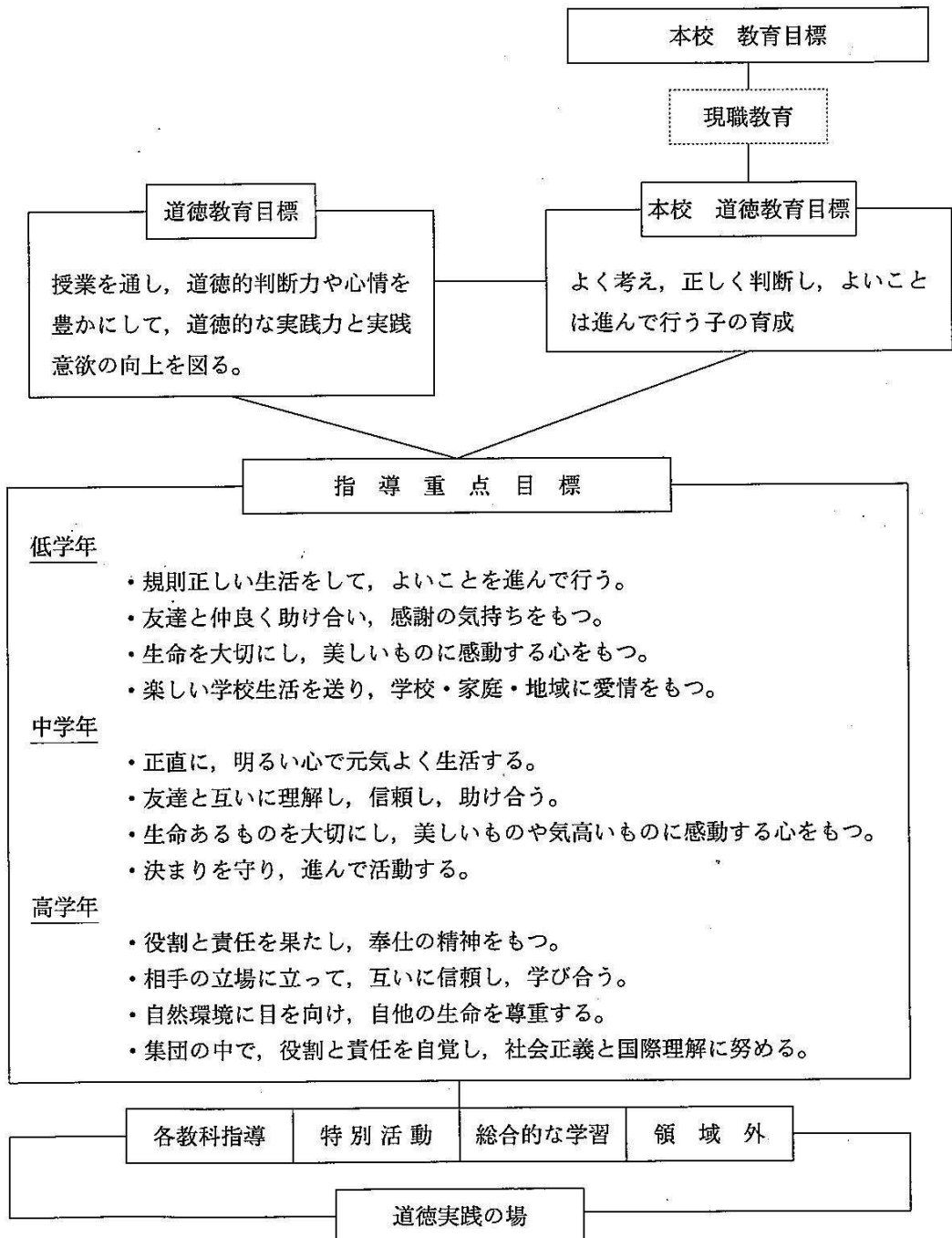
IV 道徳教育

1. 目 標

道徳的価値について自覚させ、道徳的態度を育てる。

- ・よく考え、正しく判断できる子どもを育てる。
- ・よいことは進んで実践できる子どもを育てる。

2. 全 体 計 画



3. 努 力 点

- (1) 人間関係を大切にした学級づくりをする。
- (2) 自分たちの生活をよりよくするための問題意識の発揚と内面化を図る。
- (3) 言行一致の生活態度を身につけるようにさせる。
- (4) 資料を整備し、常にその活用化に努める。
- (5) 「心のノート」を活用し、実生活に生かす。

4. 学習別のねらい

- 1年
 - ・身の回りを整え、自分のことは自分でする。
 - ・気持ちよくあいさつができ、友達となかよくする。
 - ・動物や植物を大切にし、生命を大切にする。
 - ・約束や決まりを守り、楽しい学校生活を送る。
- 2年
 - ・規則正しい生活をし、よいことを進んでする。
 - ・温かい心で助け合い、感謝の気持ちをもつ。
 - ・生きる喜びを知り、美しいものに感動する心をもつ。
 - ・周りの人の役に立つ喜びを知り、学校・家庭・地域に愛情をもつ。
- 3年
 - ・よく考えて行動し、過ちは素直に改める。
 - ・相手のことを思いやり、親切にする。
 - ・生命あるものすべてを大切にし、美しいものに触れようとする。
 - ・集団の中のきまりを守って、みんなで協力し合い、楽しく生活をする。
- 4年
 - ・自分の考えをしっかりとって積極的に行動し、それについてふりかえることができる。
 - ・相手の気持ちを尊重し、思いやりのあるなかま関係を作る。
 - ・生命の尊さを感じ取り、美しいものや気高いものに触れようとする。
 - ・生活集団におけるきまりについて理解し、みんなで協力し合い、進んで楽しい生活を送ろうとする。
- 5年
 - ・自分の言動に責任をもち、何事も誠実にやりぬこうとする。
 - ・相手の立場に立ち、お互いのよさを認め合い、誰に対しても差別や偏見をもつことなく接する。
 - ・自分でできる範囲で自然環境をよくしようとし、自他の生命を尊重する。
 - ・積極的に集団活動に参加し、公共のための活動に目を向ける。
- 6年
 - ・よく考えて反省と創意工夫によって、積極的に生活をきりひらく。
 - ・自他の立場を考え公平にふるまい、常にまごころをもって行動する。
 - ・自他の生命を尊重し、より高い目標に向かってねばり強くやり通す。
 - ・自他の権利を大切にし、差別をなくす心を育てると共に郷土愛や国際理解に努める。